

第2回江の川河川整備懇談会

～住民説明会開催結果報告・アンケート集計結果（中間）～

平成23年5月23日

国土交通省 中国地方整備局

1. 「江の川のこれからを考える会」開催結果報告

三次会場

- 開催日時：H23. 2. 20（日）13時30分～15時30分
- 開催場所：広島県三次市
（三次福祉保健センター4階 ふれあいホール）
- 参加者数：34名

安芸高田会場

- 開催日時：H23. 2. 26（土）13時30分～15時30分
- 開催場所：広島県安芸高田市
（安芸高田市文化センター4階 小ホール）
- 参加者数：75名

江津会場

- 開催日時：H23. 2. 20（日）14時00分～16時00分
- 開催場所：島根県江津市
（江津市総合市民センター2階 大会議室）
- 参加者数：7名

川本会場

- 開催日時：H23. 2. 26（土）13時30分～15時30分
- 開催場所：島根県邑智郡川本町
（川本町本町会館 大ホール）
- 参加者数：36名

桜江会場

- 開催日時：H23. 2. 27（日）13時30分～15時30分
- 開催場所：島根県江津市桜江町
（コミュニティーセンター1階 研修室）
- 参加者数：58名

邑智会場

- 開催日時：H23. 3. 5（土）13時30分～15時30分
- 開催場所：島根県邑智郡美郷町
（山村開発センター2階 農林研修室）
- 参加者数：11名

大和会場

- 開催日時：H23. 3. 6（日）13時30分～15時30分
- 開催場所：島根県邑智郡美郷町
（大和事務所1階 多目的室）
- 参加者数：12名

2. 江の川河川整備計画アンケートの提供方法

1) 広報誌への折り込み

● 広報誌への折り込みエリア

- ・ 島根県：江津市、川本町、美郷町、
邑南町
- ・ 広島県：三次市、安芸高田市、
庄原市総領町(旧総領町)

● 配布日：平成23年2月上旬～3月上旬

● 配布部数：約 5万7千部

2) 小学校を通じた配布

● 対象

アンケート配布対象エリア内に所在する小学校4年生等の保護者
(小学校58校)

● 配布部数：約 1千部

3) 公共機関等に常設

● 常設場所

○ 島根県

- ・ 江津市：市役所, 桜江支所
- ・ 川本町：町役場
- ・ 美郷町：町役場, 大和事務所
- ・ 邑南町：町役場, 瑞穂支所, 羽須美支所
- ・ 国土交通省：浜田河川国道事務所,
江の川下流出張所, 川本出張所

○ 広島県

- ・ 安芸高田市：市役所, 八千代支所, 高宮支所, 甲田支所
- ・ 三次市：市役所, 布野支所, 作木支所
- ・ 国土交通省：三次河川国道事務所, 土師ダム管理所,
灰塚ダム管理支所, 三次出張所,
吉田出張所, 三次国道出張所

● 配布部数：約 1千部

※浜田河川国道事務所及び三次河川国道事務所HP
からもアンケートへの回答を可能とした。

合計 約5万9千部を配布

3. 江の川河川整備計画アンケートの集計結果（1）

◆回収状況・・・H23. 4. 30現在 **1,526通**（アンケートハガキ投函期限：H23. 3. 31）

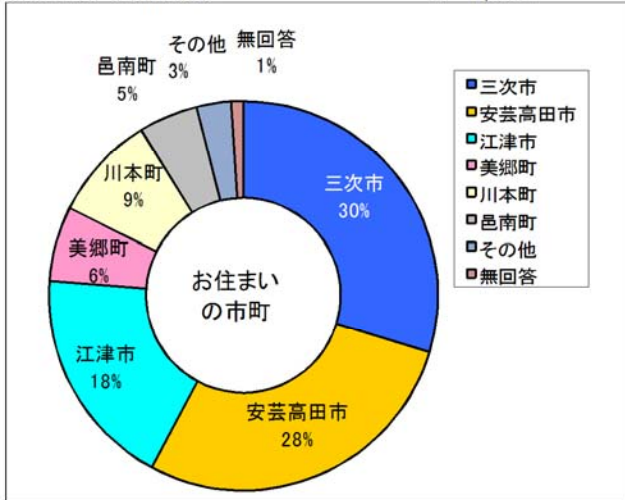
◆住民説明会では、“はがき”と同じ内容で、アンケート調査を実施

手法	実施期間・開催日	事務所・会場名	枚数
はがき投函	2月上旬～3月末日	三次河川国道事務所分	640枚
		浜田河川国道事務所分	490枚
小計			1,130枚
住民説明会アンケート	2月20日	三次会場	34枚
	2月26日	安芸高田会場	67枚
	2月20日	江津会場	5枚
	2月26日	川本会場	33枚
	2月27日	桜江会場	48枚
	3月5日	邑智会場	10枚
	3月6日	大和会場	12枚
小計			209枚
インターネット	2月上旬～3月末日		8枚
小学校	3月上旬～3月末日		177枚
その他(意見のみ)			2枚
合計			1,526枚

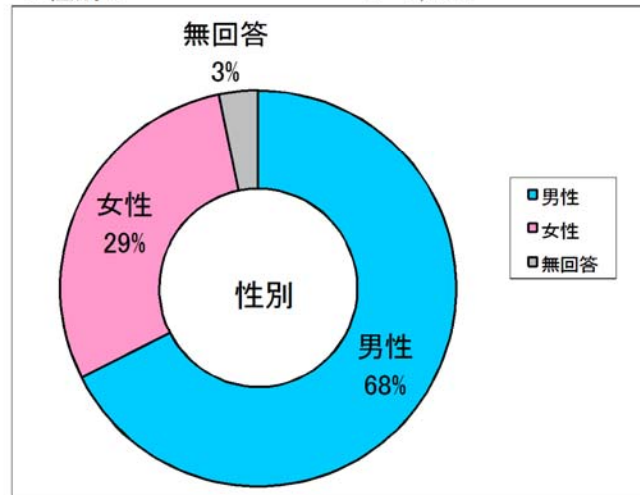
3. 江の川河川整備計画アンケートの集計結果（2）

◆回答者属性（H23. 4. 30現在）

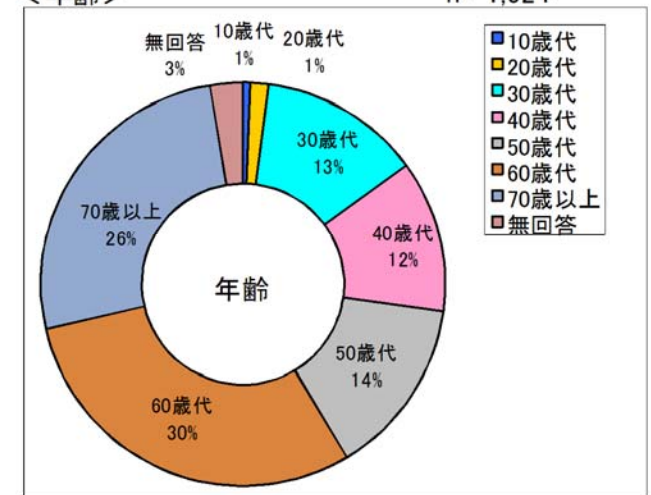
<お住まいの市町名> n= 1,524



<性別> n= 1,524



<年齢> n= 1,524



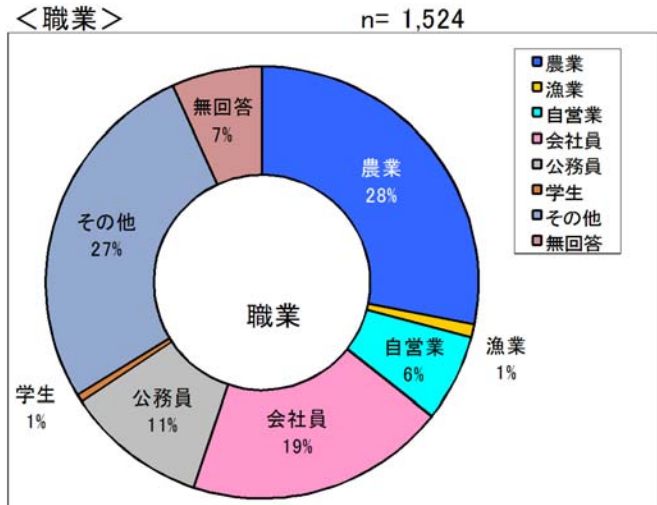
お住まいの市町：江の川上流域の広島県が6割弱（三次市, 安芸高田市）、江の川下流域の島根県が4割弱（江津市, 美郷町, 川本町, 邑南町）と、概ね両県の方からバランスよく回答されています。

性別：回答者の男性・女性の比率は約7：3です。

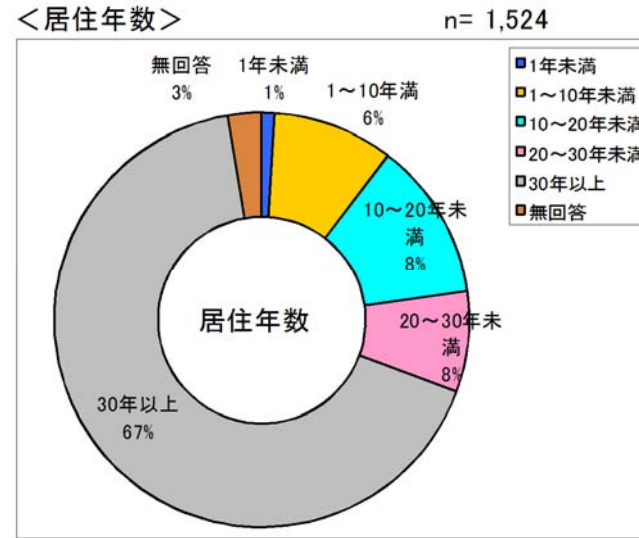
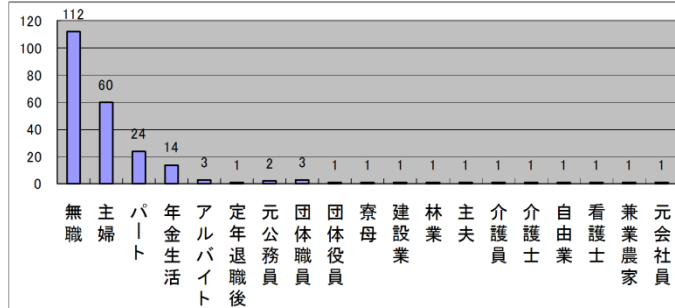
年齢：回答者の年齢構成は、年代が高くなるにつれて回答者数が多くなり、60歳代が約3割と最も多くなっています。回答者の半分以上の方が、60歳以上の方で占めています。

3. 江の川河川整備計画アンケートの集計結果 (3)

◆回答者属性 (H23. 4. 30現在)



<職業・その他の回答一覧>



職業：農業の方が3割弱、会社員の方が2割弱と多くを占めています。
その他の内訳は、無職及び主婦の方が多くを占めています。

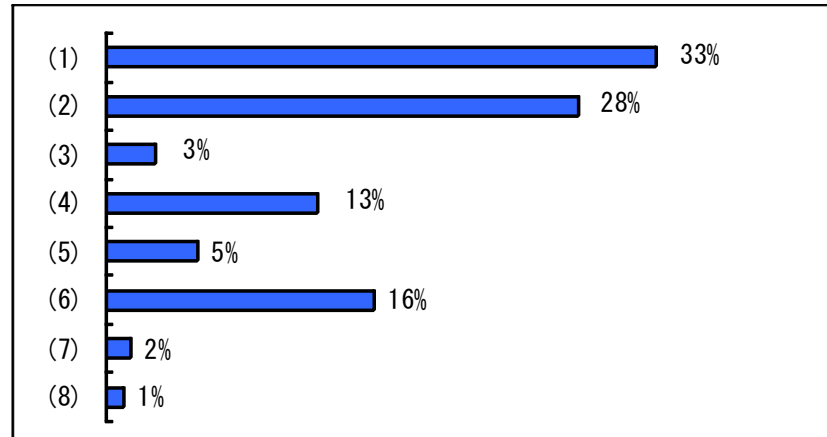
居住年数：30年以上住んでおられる方が全体の2/3を占めており、地域で長く生活されている方からの回答が多くなっています。

3. 江の川河川整備計画アンケートの集計結果（4）

◆回答者属性（H23. 4. 30現在）

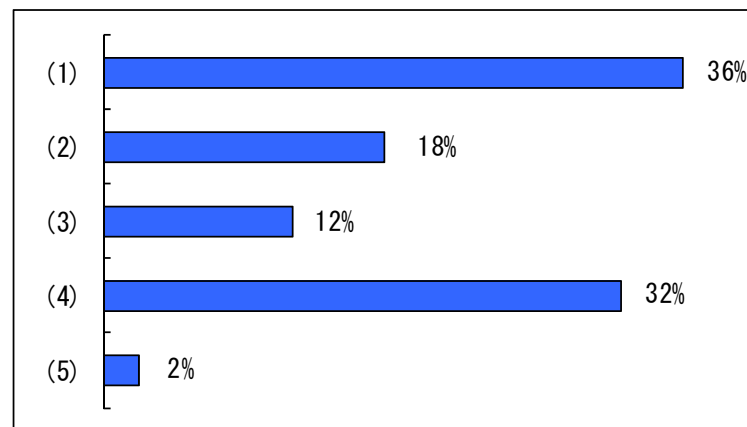
Q 1 ; あなたが身近に感じる川を次の中から選んでください。（複数選択可）

	回答数	構成比
(1) 江の川(島根県側)	649	33%
(2) 江の川(広島県側)	558	28%
(3) 神野瀬川	60	3%
(4) 馬洗川	250	13%
(5) 西城川	108	5%
(6) その他	317	16%
(7) 特になし	30	2%
(8) 無回答	21	1%
合計	1993	100%



Q 2 ; お住まいの地区で過去の洪水で浸水被害に遭われたことがありますか。（複数選択可）

	回答数	構成比
(1) 昭和47年7月洪水	690	36%
(2) 昭和58年7月洪水	336	18%
(3) その他	226	12%
(4) 被害にあったことがない	617	32%
(5) 無回答	43	2%
合計	1912	100%

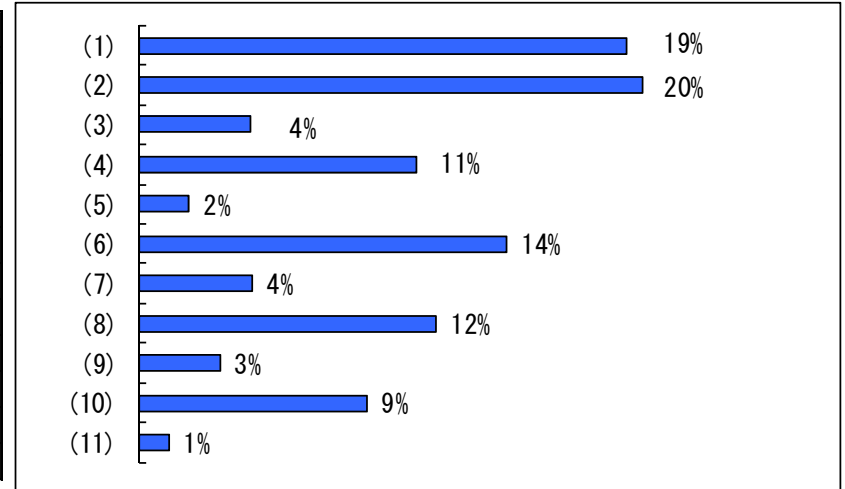


3. 江の川河川整備計画アンケートの集計結果（5）

◆回答者属性（H23. 4. 30現在）

Q 3 ; 普段どのように川とかかわっていますか。（複数選択可）

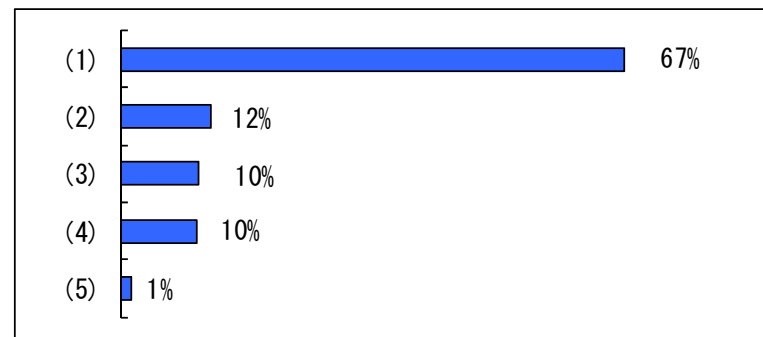
	回答数	構成比
(1) 浸水被害を心配している。	497	19%
(2) 農業用水として河川水を使っている。	513	20%
(3) 漁業(内水面漁業)をしている。	115	4%
(4) 釣をしている。	284	11%
(5) カヌー・ボートなどで水面を利用している。	52	2%
(6) 散策・スポーツ・水遊び等で河川敷を利用している。	376	14%
(7) 環境学習の場として利用している。	116	4%
(8) 河川の清掃活動をしている。	304	12%
(9) その他	83	3%
(10) 特になし	233	9%
(11) 無回答	31	1%
合計	2604	100%



A. 「洪水」について、お聞かせください。

Q 4 ; あなたが身近に感じる川は、洪水に対して、安全だと思いますか。

	回答数	構成比
(1) 危険である。	1014	67%
(2) どちらでもない。	179	12%
(3) 安全である。	156	10%
(4) わからない。	154	10%
(5) 無回答	21	1%
合計	1524	100%

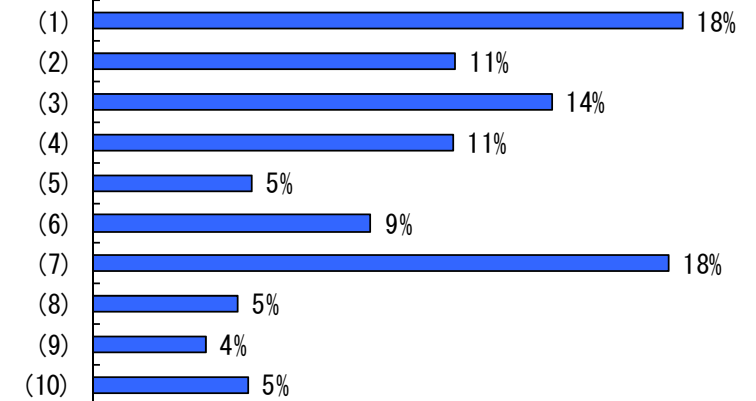


3. 江の川河川整備計画アンケートの集計結果（6）

Q4で(1)を選んだ方におたずねします。

Q5-1；危険だと思う理由を次の中から選んでください。（複数選択可）

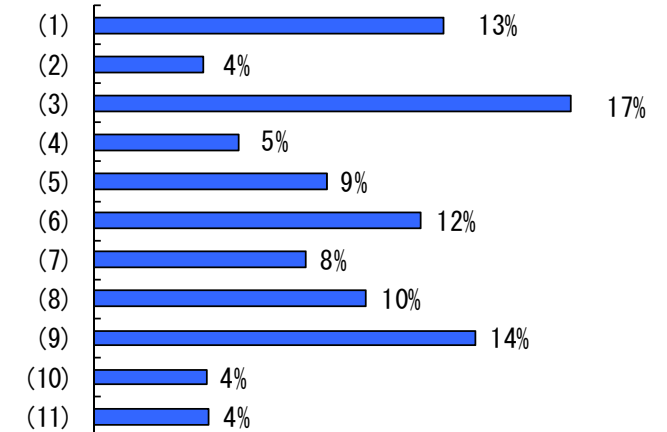
	回答数	構成比
(1) 自身や周囲の人が浸水被害を経験したため。	473	18%
(2) 堤防がない、または、低いため。	291	11%
(3) 川の中に樹木が生い茂っているため。	368	14%
(4) 川幅が狭い、または、川の中に土砂が堆積しているため。	289	11%
(5) 堤防が老朽化しているため。	127	5%
(6) 護岸が整備されていないため。	223	9%
(7) 異常気象により大雨が降ることが考えられるため。	462	18%
(8) 防災意識が薄れているため。	116	5%
(9) その他	90	4%
(10) 無回答	124	5%
合計	2563	100%



※Q4で「1.危険である」を選択した方のみを集計

Q5-2 洪水にそなえて、今後どのような対策が必要だと思いますか。（複数選択可）

	回答数	構成比
(1) 新たな堤防、または洪水水位より低い宅地のかさ上げをおこなう。	325	13%
(2) ダムなどの洪水調節施設津を設ける。	101	4%
(3) 川の中の樹木の伐採する。	443	17%
(4) 川幅を広げる。	134	5%
(5) 老朽化した堤防を修繕する。	216	9%
(6) 護岸を整備する。	304	12%
(7) 流域に降った目を、川に排水する対策をおこなう。	197	8%
(8) 洪水に備えて、地域の防災対策を強化する。	253	10%
(9) 洪水時に、雨量・水位情報や、避難情報などを住民が早く入手できるようにする。	354	14%
(10) その他	104	4%
(11) 無回答	107	4%
合計	2538	100%



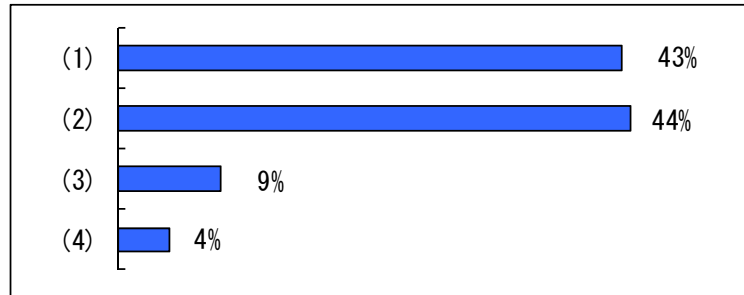
※Q4で「1.危険である」を選択した方のみを集計

3. 江の川河川整備計画アンケートの集計結果（7）

B. 水道用水や農業用水等の「水利用」について、お聞かせください。

Q 6 ; あなたが身近に感じる川の水は、みなさんの生活のためなどに利用されていますが、水が足りないと感じることがありますか。

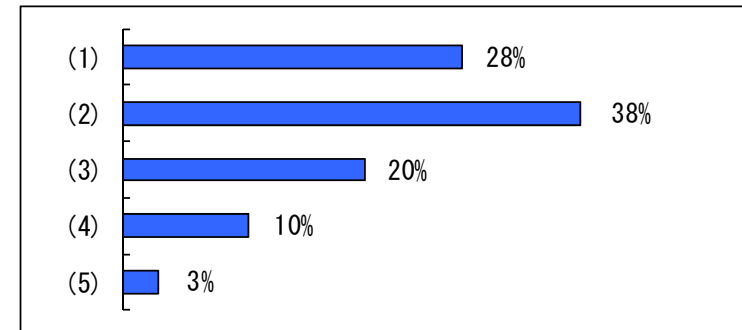
	回答数	構成比
(1) 感じる	656	43%
(2) 感じない	666	44%
(3) わからない	134	9%
(4) 無回答	68	4%
合計	1524	100%



Q 6 で (1) を選んだ方におたずねします。

Q 7 ; みなさんの生活が困らないように水量を保つためには、今後どのようにすることが望ましいと思いますか。
(複数選択可)

	回答数	構成比
(1) 日ごろから水利用者が節水をする。	254	28%
(2) 水利用の調整が出来るような体制づくりをおこなう。	343	38%
(3) ダムで水を貯めておき、水不足時に放流する。	182	20%
(4) その他	94	10%
(5) 無回答	27	3%
合計	900	100%



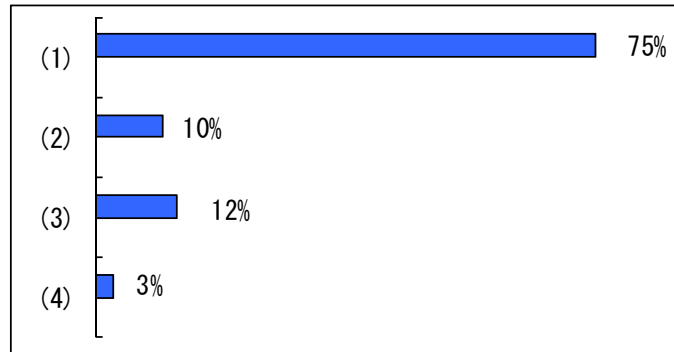
※Q6で「1.感じる」を選択した方のみを集計

3. 江の川河川整備計画アンケートの集計結果（8）

C. 「河川環境」について、お聞かせください。

Q 8 ; あなたが身近に感じる川の環境について、満足していますか。

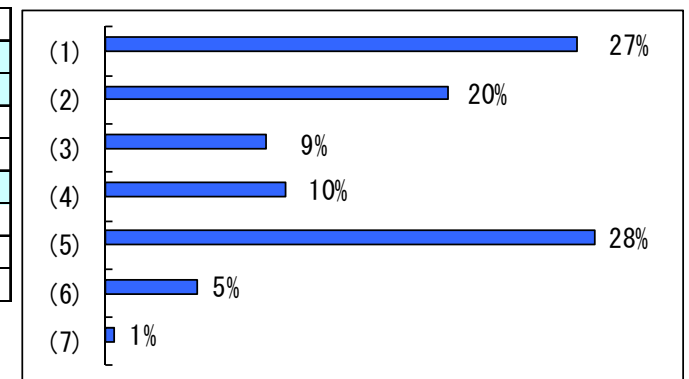
	回答数	構成比
(1) 不満である。	1144	75%
(2) 満足している。	155	10%
(3) わからない。	185	12%
(4) 無回答	40	3%
合 計	1524	100%



Q 8 で(1)を選んだ方におたずねします。

Q 9 ; 不満に思う理由を次の中から選んでください。（複数選択可）

	回答数	構成比
(1) ゴミが多くて、水が汚れている。	716	27%
(2) 生き物が少ない。(少なくなった。)	520	20%
(3) 外来生物(オオカナダモなど)が増えて困っている。	243	9%
(4) 瀬(流れが速く浅い場所)や淵(流れが遅く深い場所)が少なく川が単調である。	274	10%
(5) 樹木や草刈などの手入れが行き届いていない。	742	28%
(6) その他	140	5%
(7) 無回答	14	1%
合 計	2649	100%



※Q8で「1.不満である」を選択した方のみを集計

3. 江の川河川整備計画アンケートの集計結果（9）

Q10；良好な河川環境として、保全が必要と思うものを記載してください。

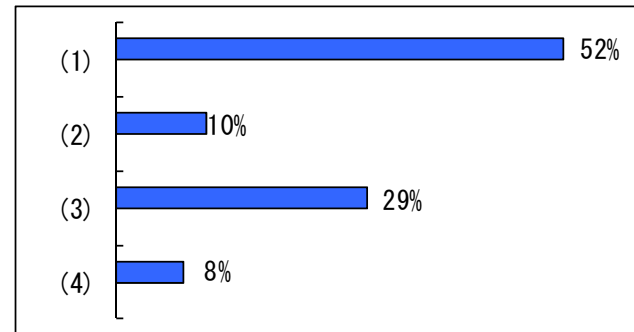
1.	流木やゴミが洪水で運ばれそのままになっている。
2.	山林の保全をもっと備え、保水力や生物環境とのかかわりを認識することに努める。
3.	「ウ」や「ブラックバス」が多いため日本古来の魚がいなくなった。
4.	土砂の堆積が目立つ、堆積がいちじるしい場所の除去。
5.	水の浄化、ゴミの清掃。
6.	ダムの放水量調整不足のせいか水量が少なく、モが発生。
7.	自然な形を残す工法を採用し、源流域を壊さないこと。
8.	天然記念物保存種“オオサンショウウオ”の保護対策の急務を感じる。
9.	早急な下水処理設備の整備。
10.	生活排水、水田の低農薬の対策、森林の保全。
11.	生物が自然の力で増える河川環境。
12.	もう川をいじらないで下さい。
13.	ダムができたりして、昔から比べて魚類も激減した。特にアユ、サケ、モクズガニ等。
14.	地域住民(川に係わるすべての人)の意識改革。
15.	魚が生息するような工法による河川改修を行う。
16.	コンクリート打込みによる護岸だけでなく、エビ・カニ・小魚が生息できるような漁礁となる石垣による護岸も検討してはどうでしょう。
17.	外来種のオオカナダモの増殖防止。
18.	レキ河原(福原)の状態が悪い。おきな草のその後は。
19.	近年、鮎の生息数が減少している。原因はいろいろ考えられるが、親鮎の減少に加え、産卵場の環境悪化もある。小砂利の間に泥が詰まっていることにより、産卵場の機能低下が上げられてる。ダムによる汚濁水の長期化も原因のひとつと考えられる。
20.	特にダムの直下で、水量が少なく川床に藻類が多い。
21.	ダムや魚道などの見直し。
22.	コンクリート護岸を昔ながらの自然環境に戻していく。
23.	魚や生き物がたくさんいる川になると良い。

3. 江の川河川整備計画アンケートの集計結果（10）

D. 散策・レジャー・イベント等の「河川利用」について、お聞かせください。

Q 1 1 ; あなたが身近に感じる川の利用に対して、満足していますか。

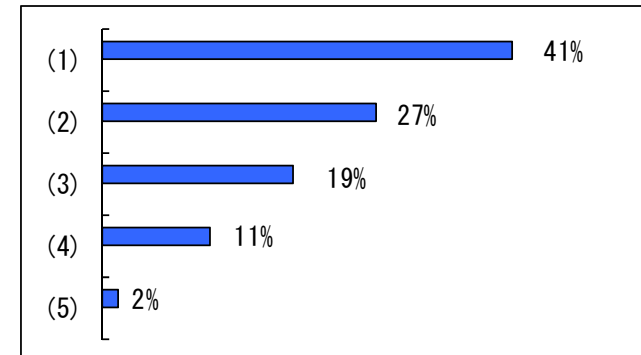
	回答数	構成比
(1) 不満である。	796	52%
(2) 満足している。	160	10%
(3) わからない。	447	29%
(4) 無回答	121	8%
合 計	1524	100%



Q 1 1 で(1)を選んだ方におたずねします。

Q 1 2 ; 不満に思う理由を次の中から選んでください。（複数選択可）

	回答数	構成比
(1) 水辺に近づきにくい。	547	41%
(2) 散策路や親水公園などの整備がされていない。	367	27%
(3) レクリエーション・スポーツ広場が整備されていない。	255	19%
(4) その他	145	11%
(5) 無回答	21	2%
合 計	1335	100%



※Q11で「1.不満である」を選択した方のみを集計